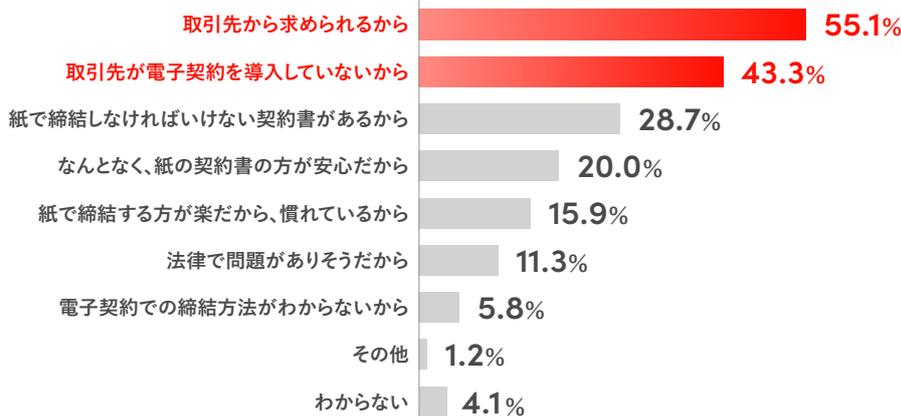




## いまだに約7割の企業が 紙の契約書を締結する理由

働き方の多様化や法務人材の不足から電子契約サービスの導入が推進されています。  
しかし、紙の契約書による締結作業はいまだに根強く残っています。

**Q: 電子契約を導入しているが、  
紙で契約書を締結する理由をすべて教えてください。**



(n=515、複数回答電子契約を導入しているが紙でも締結する)

「取引先から求められるから」が半数以上を占めており、  
外部要因によって紙の契約書による締結作業が残っている実態が明らかに。

紙の契約書



電子契約書



契約業務には紙の契約書と電子契約書が混在しており、  
自社の都合だけで紙の契約書を完全になくすことは難しい状況です

## 契約書を保管するだけでは不十分。 求められるのは「契約書管理」

契約書は、一定期間保管する必要があります。  
しかし、紙の原本をただ保管しているだけでは、リスクが生じます。

### 契約終了後も契約書を保管しなければならない理由



#### 法的義務

法令によって定められた  
保存期間を守るため



#### 行為規範

取引のルールとして  
現場が参照するため



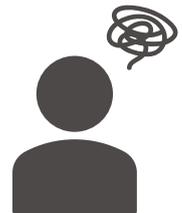
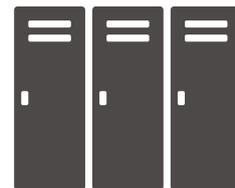
#### 証拠保全

取引先と紛争があった際の  
証拠とするため

しかし、契約書を紙の原本で保管しているだけでは、  
探して参照するまでに工数がかかり、リスクを招く可能性も。

### 契約書を紙で保管することで生じる課題

- 参考にしたい契約書がすぐに見つからない
- 現場からの問い合わせ対応に時間がかかる
- 契約期間の終了に気付かず、トラブルに発展する



契約書を紙の原本で保管するだけでなく、  
管理できる環境を作ることですまざまなリスクを低減できます

## 理想の契約書管理と そのメリット

契約書を最適な形で管理できるようになると、  
さまざまなメリットが生まれます。

### 理想の契約書管理とは

これまでに取り交わした全社の契約書について  
契約の有効／無効と契約期間が把握でき、  
事業部門を含め必要な人がすぐに取り出せる状態になっていること

### 契約書管理を行うメリット

#### 01

##### リスクマネジメントを強化できる

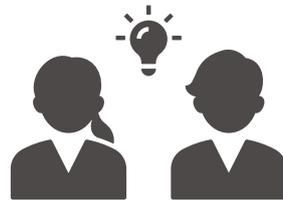
契約書は、企業間の取引に関するルールが定められている重要な資産です。契約の有効／無効や有効期間を把握し、管理することで、ビジネスにおけるリスクを最小限に抑え、法的トラブルを回避することができます。



#### 02

##### 組織全体の生産性を向上させる

必要な時、すぐに契約書を確認できるようになり、意思決定のスピードが上がります。また、全社員が契約書を確認できる環境を作ることで、管理部門への問い合わせやその対応にかかるコストを削減できます。



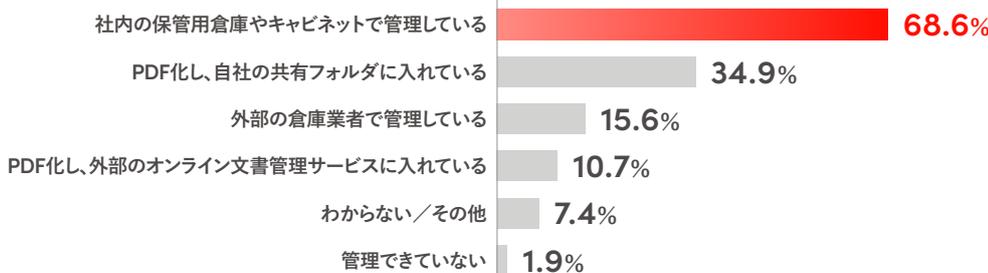
契約書管理は事業にメリットをもたらしますが、  
実現にはさまざまなハードルがあります

## 契約書管理の実現を阻む壁 ①

### 電子化することにコストが掛かる

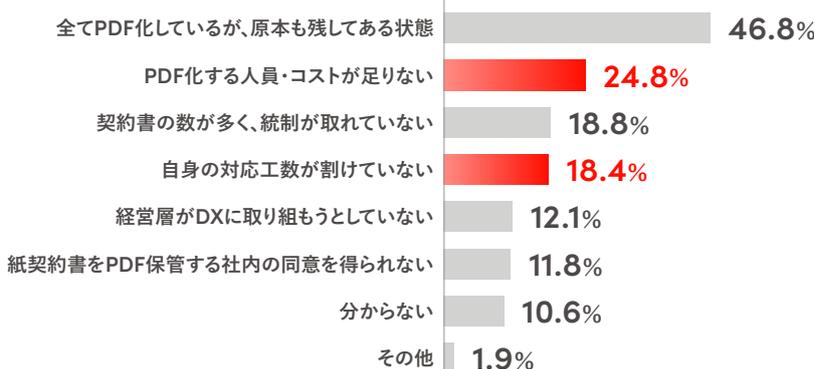
紙の契約書を扱う場合も、PDF化するという方法によって、クラウド上で管理することは可能ですが、実現は困難です。

**Q: あなたのお勤めの会社では、締結した紙の契約書をどのように管理していますか。**



(n=954、複数回答)

**Q: 紙の契約書を紙のまま管理している理由**



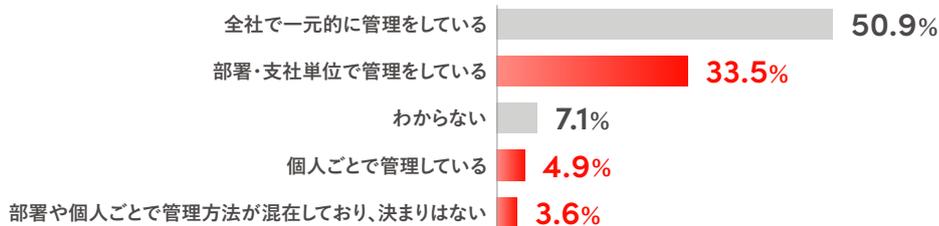
(n=757、複数回答/保管用倉庫・キャビネット・倉庫業者で管理している紙の契約がある回答者)

約7割が社内のキャビネットで紙のまま契約書を保管していますが、PDF化にコストがかかることも大きな要因となっています

## 契約書管理の実現を阻む壁 ② バラバラに保管されている

契約書は社内のさまざまな部門で取り交わされていますが、  
管理もそれぞれの部門で行っているという企業もあります。

### Q：締結した契約書をどの単位で管理していますか



(n=1000、複数回答)

### 契約書を一元管理できないデメリット



全社の契約状況が  
分からない



独自のルールが生まれ  
属人化する



紛失や破損の  
リスクがある

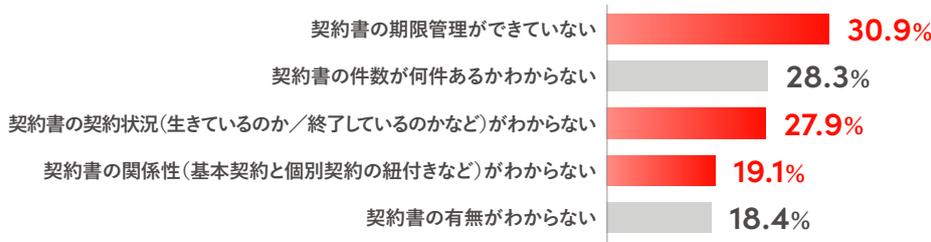
約半数が全社の契約書を一元管理できていませんが、  
契約書が分散管理されているとデメリットが生じます

## 契約書管理の実現を阻む壁 ③

### 管理の難易度が高い

契約書管理のためには、さまざまな項目をリスト化する必要がありますが、契約書はページ数も文字数も多く、膨大な工数がかかってしまいます。

#### Q: 契約書の管理に関して、 感じている課題を教えてください。



(n=954、複数回答)

#### Q: 契約書に関するトラブルについて 発生したことがあるものを教えてください。

##### 上位5回答

- ① 勝手に自動更新され続けていた (18.7%)
- ② 気付かぬうちに契約切れが発生した (18.4%)
- ③ 更新期限を逃し、契約巻き直しの機会を失った (17.2%)
- ④ 契約状況や内容を把握できず案件の進行スピードが遅れた (13.5%)
- ⑤ 不利な条件で契約締結し損失を負った (13.3%)

##### その他の回答

- 取引先との関係性悪化につながり信頼を失った
- 契約内容の不履行で訴訟・裁判などに繋がった

(n=757、複数回答/保管用倉庫・キャビネット・倉庫業者で管理している紙の契約がある回答者/「当てはまるものはない」「その他」の回答を除く)

契約の有効性や契約期限の管理には膨大な工数がかかりますが、  
管理が不十分だとさまざまなトラブルを引き起こす可能性があります

## 契約書管理の実現を阻む壁 ④

### セキュリティー要件が複雑

契約書には機密情報が記載されているケースもありますが、セキュリティーが強固なだけでは利便性に欠けてしまいます。



#### 情報漏えいのリスクを 低減して保管したい

利用者の把握や権限管理を行うことができる、  
情報漏えいのリスクを低減した管理方法が求められます。

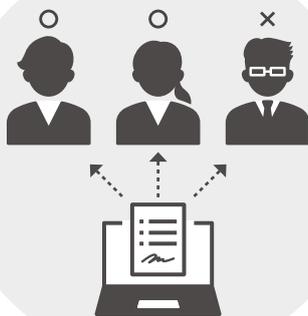
#### 厳重な管理は必要だが、 必要な時に閲覧したい

保管庫で厳重に管理を行う場合、紛失や破損といった  
リスクは低減する一方、緊急時にも閲覧に時間がかかります。



#### 契約書ごとに閲覧権限を 細かく設定したい

機密性の高い契約書もあるため、  
契約書ごとに閲覧制限を設定できる環境が必要です。



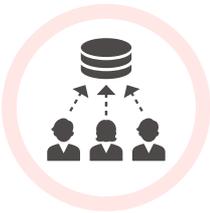
**強固なセキュリティーでありながら、誰でもアクセスでき、  
かつ、リスクを考慮して閲覧制限を設定できる環境が理想的です**

## 理想の契約書管理を実現する 4つのポイント

契約管理の実現を阻む壁を乗り越えるためには、  
以下の4つのポイントをクリアした環境や業務フローを整える必要があります。

### Point 1

#### データ化してクラウド上で保管する



- データ化し、クラウド上で保管すれば、時間や場所を問わず、複数のメンバーが同じ契約書を確認できる
- 全文をデータ化することで検索性が向上し、法改正が発生した場合もスムーズに対応できる

#### BCP対策にもつながる

データとして保管することで、紛失や破損、災害時などに備えたバックアップデータとしても貢献する

### Point 2

#### 過去の契約書も含めた全社の契約書を一元管理する



- 全社で管理規程を策定し、管理方法を統一することで、これまでバラバラに保管されていた契約書をすべて一元管理する
- 全社の契約状況を正しく把握できるようになるため、ガバナンス強化や法令順守につながる

### Point 3

#### 契約の有効性に関する項目を管理する



- 契約の有効性を正確に把握するには、契約終了日のみでなく、自動更新の有無や自動更新期間といった項目も管理する必要がある
- 自動更新される前に条件を見直して交渉したり、更新自体を取りやめたりといった判断も可能になる

### Point 4

#### 要件を満たすセキュリティー対策を講じる



- セキュリティー対策を万全にしてこそ、情報漏えいのリスクを低減しながら、「必要な関係者がどこからでもアクセスできる」状況を保つことができる
- 契約書によって閲覧権限を設定できるような、柔軟なシステムが構築できると、全社での活用もスムーズに進みやすい

社内リソースを使用して対応すると、膨大なコストがかかります。

4つのポイントを満たすシステムを導入することがカギです

## AI契約データベース「Contract One」で 理想の契約書管理を実現

Contract Oneは、あらゆる契約書を正確にデータ化し、  
全社で契約情報を活用できるようにするこれまでにないAI契約データベースです。

### Contract Oneの特長

#### 01 | あらゆる契約書を正確にデータ化

紙も電子も、過去に取り交わした契約書もこれから取り交わす契約書も、主要9項目\*を独自の技術で正確にデータ化し、データベースを構築します。全文もOCRによってデータ化されるため、任意のワードで検索できます。また、紙の契約書はスキャンを代行します。

\* 契約先名/契約書タイトル/契約締結日/契約開始日/契約終了日/解約通知期限日/自動更新の有無/自動更新期間/金額

#### 02 | 契約の有効性を自動で判定

契約の有効性を自動で判定。全社の契約状況を一目で把握できる環境を作ります。解約期限が近づくと、自動でアラートメールを送信するため、契約期限を管理できます。また、基本契約と個別契約といった契約同士の親子関係も自動で判定し、ひも付けます。

#### 03 | AIが契約情報の活用をサポート

AIが契約書の内容を要約したり、契約内容に関する質問に回答したりする機能により、法律に関する専門的な知識がない事業部門による契約情報の活用をサポートします。事業部門が契約書に日常的に触れる環境を作ります。

#### 04 | 強固なセキュリティー

シングルサインオン (SSO)、2要素認証、IP制限といったセキュリティー対策機能を備えています。また、サービスを提供するSansan株式会社は、情報セキュリティマネジメントシステムに関する国際規格の認証を取得しています。

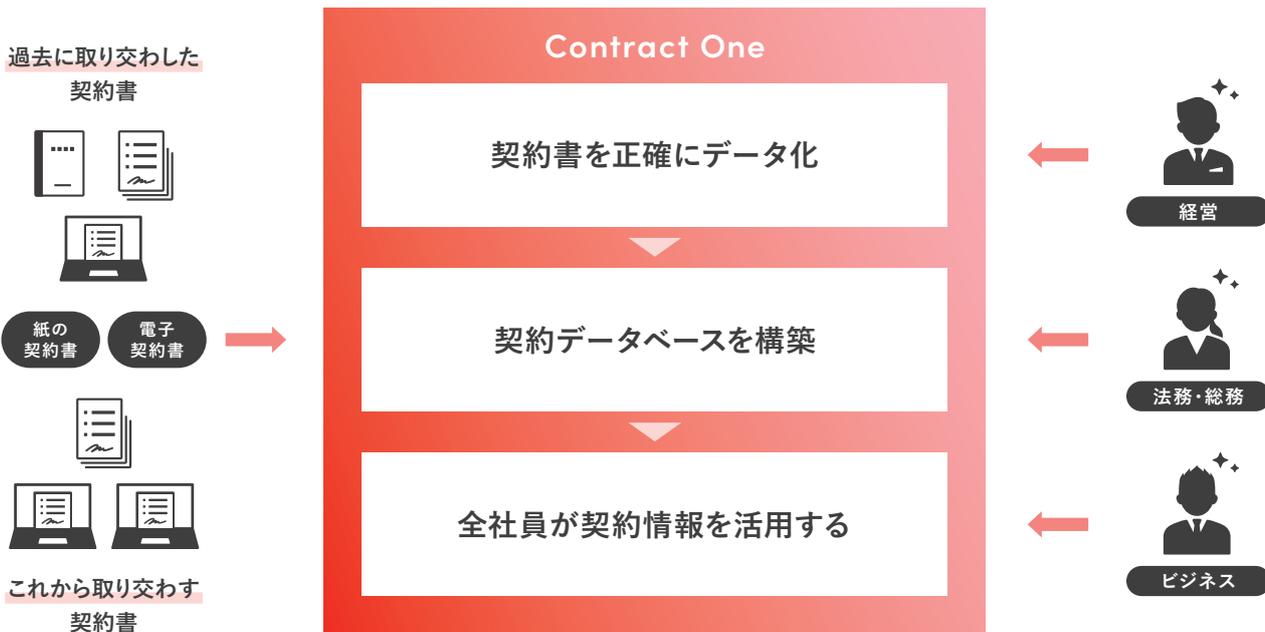


現場の習慣を変える、AI契約データベース

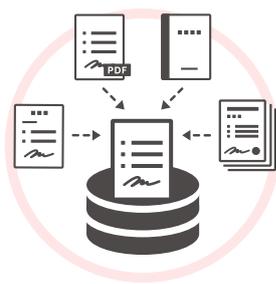
# Contract One

powered by Sansan

Contract Oneは、あらゆる契約書を正確にデータ化し、  
日常的に契約データを活用できる環境を作ることで  
管理部門だけでなく事業部門の習慣も変えるAI契約データベースです。

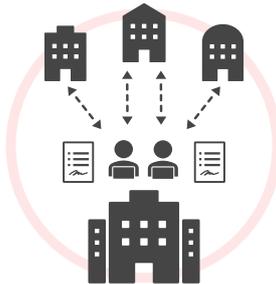


## 3つのメリット



### あらゆる契約書を一元管理できる

これから取り交わす契約書も、過去に交わした契約書も、紙や電子といった形式を問わず、すべての契約書をデータ化し、契約データベースを構築します。全社の契約を誰もが確認し、活用できます。



### 全社の契約書を体系的に管理できる

横断的に契約情報を管理できるようにすることで、リスクマネジメント体制を強化します。契約期間の終了を事前に通知し、世の中の変化を踏まえて契約内容を定期的に見直す機会を作ります。



### 組織全体の生産性が上がる

全社員が契約データを活用できる環境を作ることで、管理部門だけでなく、全社の業務効率を向上させます。事業部門でも契約書に触れることが当たり前になり、スムーズな取引につながります。

**Contract One**  
powered by Sansan

お問い合わせ | デモ依頼やお見積りについては、お気軽にお問い合わせください

[contact@sansan.com](mailto:contact@sansan.com) ☎ 0800-100-9933

<https://contract-one.com>

Sansan株式会社 [本社] 〒150-6228 東京都渋谷区桜丘町1-1 渋谷サクラステージ 28F

※ 本資料は2024年3月に作成されました。掲載されている内容は作成時点での情報です。

※ 本資料の記事・写真等の無断転載、複写、複製を禁じます。

© Sansan, Inc.